

第4期奈良県がん対策推進計画に関する 委員および関係者からの主な意見

会議	委員および関係者からの主な意見
奈良県がん予防対策推進委員会 日時：6月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案について概ね了承
奈良県たばこ対策推進委員会 日時：7月3日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案について概ね了承
がん医療部会 日時：7月24日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ●歯科についてもチーム医療や多職種連携の中に入れていただきたい。 ●歯科口腔にも関係する栄養に関する指標を追加してはどうか。 ●がんリハについて進めていかないと本当の意味でのがん医療の充実や地域連携には繋がらないのではないか。 ●放射線治療専門医の人数の指標を追加してはどうか。 ●妊孕性温存療法の助成件数を指標として追加してはどうか。 ●薬剤師も緩和ケアを行っており、厚生労働省が実施する講習会を受講しているのので、講習会の受講者数を指標として追加してはどうか。 ●在宅死亡割合を指標にすると、がん終末期の人は在宅医療を行うべきだという考えになる恐れがあり、県が指標にするのはいかがなものか。 ●地域連携の分野別アウトカム指標は、連携がとれているか、希望通りの療養ができているかという指標であればよく、在宅死亡割合は削除すべきではないか。
がん患者等支援部会 日時：8月2日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ●アピアランスケアに関する助成は、すべての市町村で行われるようにして欲しい。 ●がんピアサポーターの登録者数が少なくなっている。来年度以降、養成をすすめて欲しい。 ●社会保険労務士による相談は3割程度であり、うまく活用されていないのではないかと。今後の対応を考える必要がある。 ●長期療養者の相談者の大半が退職している。制度を知っていれば退職せずに治療を続けられたと思われる方もいる。治療しながら仕事を継続できる選択肢があることを広く情報提供する必要がある。